# 見どころ案内

橋と運河が多いこのエリア。17世紀に生まれた佃島の歴史が 息づくスポットが今もたくさん残っている。さぁ探検に行こう!

本当は真んなかが開きます

#### 勝鬨橋(国指定重要文化財)

1940年に完成した、当時世界で最高の技術でつくら れた橋。当初は1日に5回、1回20分、中央部が開き 大型船を通したが、道路の交通量が増え、1968年か ら開かずの橋になっている(→n.116)。





ごうか客船や南極探検船「しらせ」が出港

### **■ 晴海客船ターミナル** (睛海5-7-1)

ごうか客船がとまり、南極観測船「しらせ」が出港・帰港する港だ。客船タ ーミナルからはレインボーブリッジが正面に見え、ながめはばつぐん。



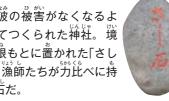
いろんな発見があるよ。



力比べをした石がある

# - 個波除稲荷神社

台風や津波の被害がなくなるよ うに願ってつくられた神社。境 内の木の根もとに置かれた「さし 石」は昔、漁師たちが力比べに持 ち上げた石だ。



かっこいい もけいがいっぱい あるね!

蒸気船「通運丸」をつくっているようす。

1902 (明治35)年の軽便鉄道用 蒸気機関車のもけい



# 船や機関車のもけいがいっぱい

**二石川島資料館** (編1-11-8) がA アイエイテアイ いぜん いしかわじま ぞうせんじょ 館。IHIは以前、石川島に造船所をもって いた。そのため佃島と石川島の歴史の資料や <sup>\*</sup>船のもけいなどを所蔵している。





赤いらんかんが自印

# 』循小橋・大幟の柱 (淄1)

つくだがわ し リッッラ 佃川支流にかかり、佃島ができたときにかけら れた橋。橋のわきの水中には、住吉神社の大祭 でつかう大幟の柱が保存されている。



ぶらぶら歩いて、もんじゃを食べよう **一西仲通り**(もんじゃストリート)

(月島1丁日~3丁日)

60軒以上のもんじゃ屋がある商店街だ。昔なが らの店が味わい深い。写真に見える旧西仲通交 番は2007年まで警視庁で最古の建物だった。



300年以上続いた 渡し船の発着場

# **!**佃島渡船場跡

(備1-3-14髡) 佃島と湊町を結ぶ渡し船は、 価島ができて間もない1645 ただにはじまった。東京オリン ピックの年 (1964年8月) まで利用された。





幕末につくられた灯台

#### **记有川島燈台跡** (淄1-11-4 羌)

えどかんでい 江戸湾に出入りする船が安全に航行できるよ うに、1866年につくられた灯台。現在のも のは復元した建物だ。

#### 佃島の漁師たちの守り神

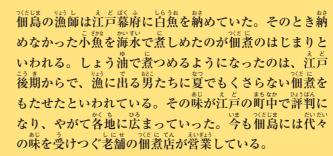
#### 全主神社 (備1-1-14)

\*\*\*
大坂の摂津から佃島に移り住んだ漁師たちが、 まっつ た みのじんじゃ きゅうすみよしじんじゃ おな がみ 摂津の田蓑神社(旧住吉神社)と同じ神をまつ った神社。3年に1度の大祭は盛大に行われる。



# 佃島の佃煮はなぜうまい!?

った。 佃煮はどうして佃煮というの? 答えは佃島で生まれた煮物だから。江戸 時代に小魚を塩からく煮て保存食にしたのがはじまり。伝統がしみた味だ。



の個点の個素は江戸の町中で「うまい」と 評判になり、こんな佃煮売りも登場した。



佃煮の老舗

天安本店

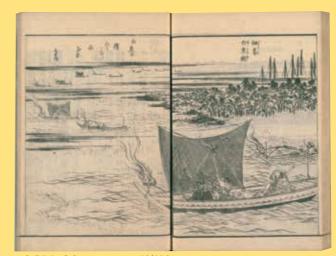
佃源田中屋







上左:創業1837年の天 た(僧1-3-14)。上右:江戸



『江戸名所図絵』にえがかれた白魚漁のようす。 右上にえがかれているのは佃島。